

「もったいない」を「ありがとう」に変えるチャンス

ご家庭に眠っている食品ありませんか？

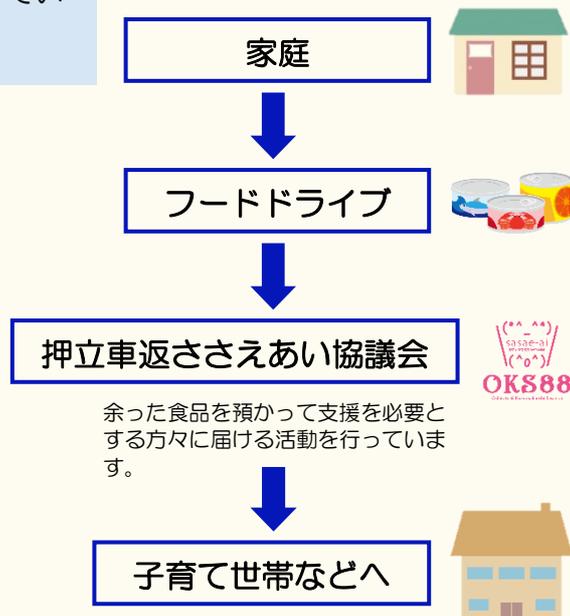
フードドライブにご協力ください！

フードドライブとは

ご家庭で余っている食品を持ち寄っていただき、それを必要としているご家庭や施設等に寄付する活動のことです。



●食品の流れ



ご寄付いただきたい食品

- ・お米（白米・玄米・アルファ米）
- ・パスタ、素麺などの乾麺
- ・缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ・のり・お茶漬け・ふりかけ
- ・粉ミルク・離乳食・お菓子
- ・調味料（醤油、食用油、味噌など）

ご注意ください！

以下の食品はお引き取りできません。

- ・賞味期限が明記されていない食品
- ・賞味期限が切れている食品
- ・賞味期限が10月9日以前のもの
- ・開封されているもの
（大袋を開封し個装が未開封のもの）
- ・生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）
- ・アルコール（みりん、料理酒は除く）

フードドライブ実施日時および回収場所

緑陵祭 2 日目
府中東高校にて

- 9月10日（日）
10：10～14：30
- 場所は2階会議室にて
- 賞味期限は10月10日以降のもの

※未開封の食品を寄付してください

お問い合わせ・主催

押立・車返ささえあい協議会
直通電話：080-4193-8855
メール：oshitate-sasaeai@outlook.jp
<https://www.facebook.com/oshitate.sasaeai/>



チャリティイベント「フードドライブ」のご紹介

1 フードドライブとは？

フードドライブというのは、ご家庭で、賞味期限は切れていないが、忘れられて保管されたままになっている、「もったいない食品」を持ち寄り、集めて、地域でのささえあい活動を展開する団体等に寄付するチャリティイベントです。押立車返ささえあい協議会では、それら食品を回収し、支援を必要とする人達に無償でお渡しする活動を行っています。

2 その背景は？

日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）が年間 500 万～800 万トンも発生し、それは、お米の年間総収量にも匹敵します。これらは、食品流通関連企業、外食産業、そして家庭から排出されるのですが、家庭で廃棄される量が最も多く、200 万～400 万トンと推測されています。

調査の結果、家庭から出る生ごみの中の 22% が手つかずの食品で、賞味期限がまだ過ぎていない未使用の食品が 4 分の 1 も含まれていたということです。これら家庭で廃棄される未使用の食品は、全量が生ゴミとして処理され焼却処分されてしまいます。日本は食糧自給率がカロリーベースで 39% と、世界の中で大変低い国であるにも関わらず、このように大量にもったいない食品を生みだしています。皆様のご家庭にも、**忘れ去られて、そのうち賞味期限が切れて捨てられる「かわいそうな食品」**がありませんか？ それらを救出し、食べ物として大切に活用するのがフードドライブです。

3 フードドライブで持ち寄る食品はどんなもの？

- (1) まず、ご家庭にある、買い過ぎて使い切れない食品、いただき物だが我が家では要らない食品を探します。お米カップ一杯でも大歓迎です。
- (2) フードドライブの実施当日、それを持ってフードドライブの会場にお出かけください。押立車返ささえあい協議会では、定期的にフードドライブの日を設定してまいります。

4 フードドライブの効果は？

おそらく、どのご家庭にも、忘れ去られた「かわいそうな食品」が、キッチンの戸棚にあるのではないのでしょうか？ バーゲンでの衝動買い、まとめ買いしたけれど使い切れなかった、などなど。皆がそれに気づけば、家庭からの食品ロスは減少するかもしれません。

そして、これら家庭で忘れられていた「かわいそうな食べ物」も、場所を変えて、それらを必要とする人達に届けば、「今日を元気に過ごすための命を繋ぐ食べ物として、とても大切なもの」に変わります。フードドライブで集めるご家庭から寄付される食品は、押立車返ささえあい協議会の手によって、地域の困っている方々に直ぐ役立ちます。

**フードドライブに参加して、「私達の地域を、明るく住みよい場所にするため」の最初の一步を踏み出してみませんか？
皆さまのご協力をお願いいたします。**

押立車返ささえあい協議会は、企業や個人の皆様から、商品としては扱えないが食べ物としては全く問題のない、あるいは家庭で使い切れなかった食品の寄贈を受け、ボランティアの手で支援を必要とする地域の方々へ、無償でお渡しする活動(フードパントリー)を実施しています。